

4. ユニバーサルデザイン計画

■基本的な考え方

- (1) 障害者・高齢者・子ども連れ等、各々のニーズにきめ細かく対応したユニバーサルデザインを徹底し、明るく快適な空間とし、来庁者が過ごしやすい、職員が動きやすい庁舎とします。
- (2) 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（以下バリアフリー法）」および「山口県福祉のまちづくり条例（以下：福祉のまちづくり条例）」に基づき整備します。

■わかりやすいアプローチ

敷地出入り口からエントランス風除室、総合案内までの動線については誘導ブロックを設置し、視覚障害者へ配慮します。玄関ホールからエレベーターや階段、トイレの視認性が高い計画とします。常盤通りからのアプローチ及び北側駐車場からのアプローチは、段差のない計画とし、床の仕上げは滑りにくく、車いすやベビーカーが使いやすい舗装を採用します。

■階段移動が容易な内部動線

不特定多数の方が通行する廊下の幅については、車いす使用者やベビーカー利用者に配慮したゆとりある幅とします。階の移動については、車いす対応、視覚障害者対応のエレベーターを設置し、円滑に階の移動が出来るように配慮します。また、エレベーターに近接した2箇所の階段については、バリアフリー法や福祉のまちづくり条例に適合した階段とします。

■駐車場

車寄せには障害者等用駐車場を5台設置します。雨天時を考慮して、庁舎入口まで庇を設け、雨に濡れずに庁舎にアプローチが可能な計画とします。

■利用しやすいトイレ

各階に多目的トイレを設置します。一般トイレにおいても、手すりや誰にでも使いやすい高さの小便器を設置し、利便性に配慮します。（多目的トイレに設置する設備の例：オストメイト対応、介助ベット、ベビーチェアなど）

■子育てに優しい設備

市民利用の多い1階部分には授乳室やキッズコーナーを設けます。またトイレにはベビーシートやベビーチェアを設け、子育てに優しい庁舎とします。

■総合カウンター・窓口カウンター

総合案内カウンターや窓口カウンターは車いす利用者や高齢者、子どもにも利用しやすい高さ・形状とし、使いやすさに配慮します。

■待合スペース

待合スペースは十分な広さを確保し、車いすやベビーカー利用者に配慮したゆとりある通路幅で計画を行います。

■誰にでも分かり易いサイン計画

サイン表示は全ての人分かるようピクトサインを併用します。弱視者や高齢者に配慮したユニバーサルな点字案内板、点字表示を組み込んだサイン計画とします。



多目的トイレのイメージ



キッズコーナーのイメージ



待合スペースのイメージ



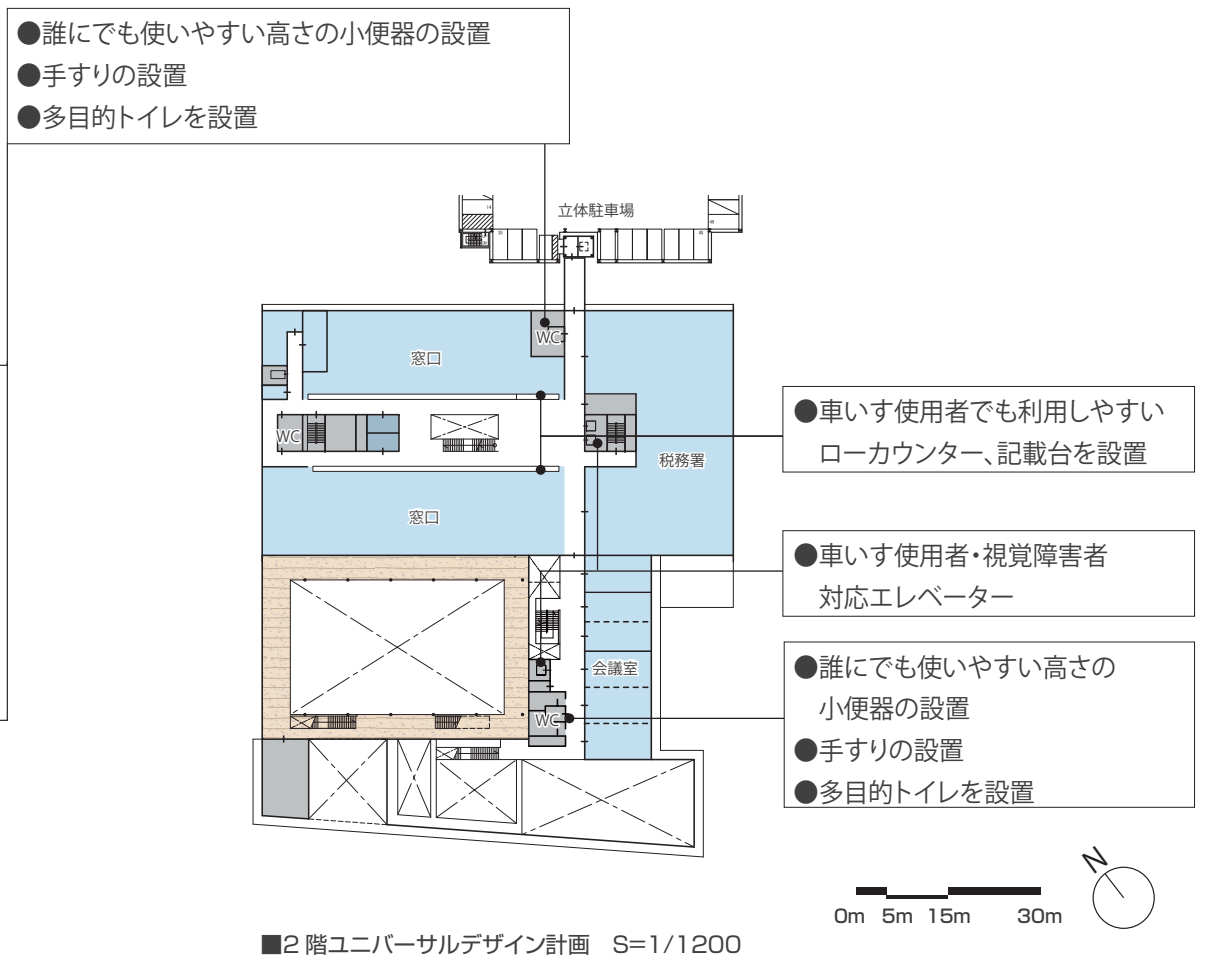
授乳室のイメージ



ピクトサインのイメージ



窓口サインのイメージ

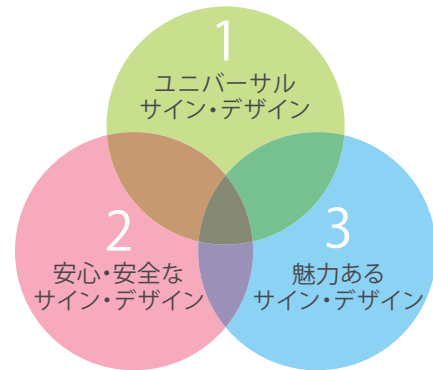


06. サイン計画

魅力ある宇部市を発信するサイン

来庁舎を目的地まで導くサインには、誘導・制御の機能だけでなく、「意志や考え方などを第三者に伝えるためのコミュニケーションツール」という意味合いがあります。

従来のサイン表示が果たすべき機能をしっかりと満たしながらも、「魅力ある宇部市」を発信するツールとして、市民により好感を持ってもらえるサイン計画とします。



1 ユニバーサルサイン・デザイン

ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインとは、製品・建物・環境などをあらゆる人が安心して分かりやすく利用できるよう考えてデザインするという概念です。障がい者や高齢者をはじめ、すべての人に優しいサイン計画とします。

○サイン計画のコンセプト

2 安心・安全なサイン・デザイン

ユニバーサルデザインの7つの原則

① 明確

必要な情報がすぐ理解できること

周囲の状況や利用者の間隔能力に関係なく、必要な情報が効果的に利用者に伝わるデザインであること

② 単純

使用方法が簡単で直感的に分かること

利用者の経験、知識、言語能力、集中力に関係なく簡単に使用できるデザインであること

③ 公平

誰もが公平に使えること

④ 自由

使用する上で自由度が高いこと

⑤ 安全

うっかりミスが危険につながらないこと

⑥ 低負担

使用する上で身体への負担が少ないこと

⑦ ゆとり

案に接近でき、利用しやすい大きさや広さになっていること

分かりやすさ

表示サインは、伝えたい情報を出来るだけ多くの人々に的確に、瞬時に伝えるため、大きな文字を用い、分かりやすく案内します。

また、目的の場所までの誘導を行う市民コンシェルジュを数多く配置します。

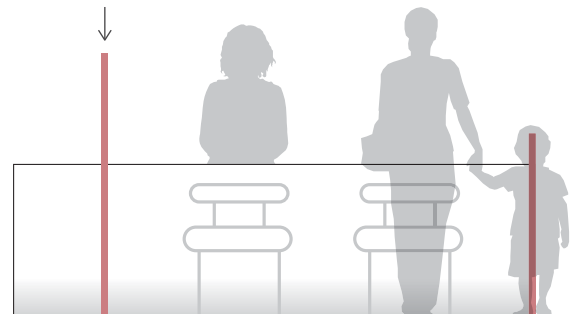
多言語表記

庁舎のサインは、情報量が多く、表示面で制約があるため、英語を基本とし、場所に応じて多言語表記や音声案内、ピクト表示やリーフレットなどによる対応によってサポートします。



○市民コンシェルジュによる案内

各課のパーテーションサイン
各課の境界位置に設置



○ピクト表示や多言語を併記した窓口カウンターサインのイメージ

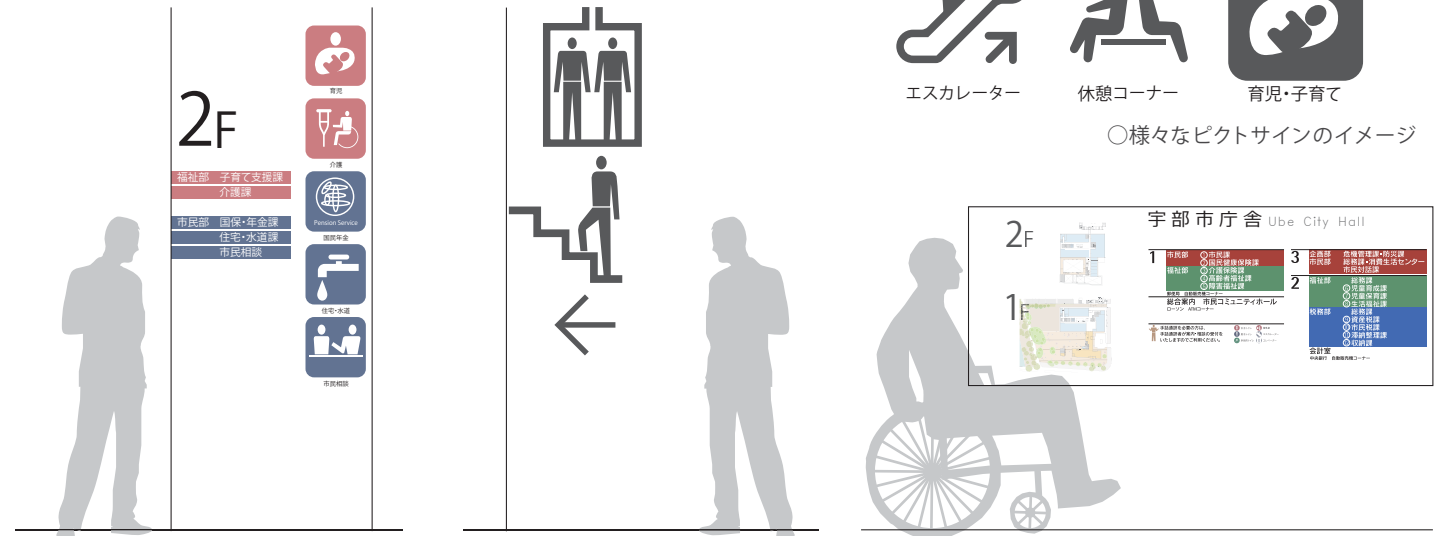
ピクト(図記号)表示

利用頻度の高い窓口の案内表示には、それぞれの意味を表したピクトを用いて、高齢者や外国の方々などにも直感的に分かりやすい案内とします。

また、トイレやエレベーター、階段などのピクトもデザインを統一し、新庁舎に調和したものとします。



○様々なピクトサインのイメージ



○窓口の案内サインのイメージ

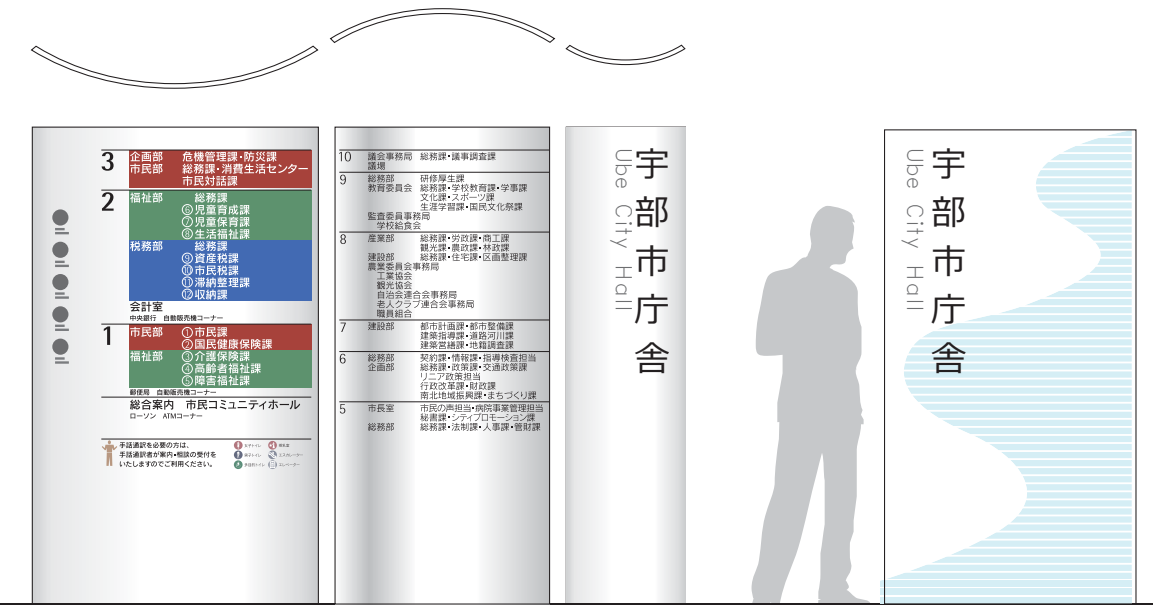
○エレベーター、階段などの誘導サインのイメージ

○車いすの方々などが見やすい高さのフロア案内サインのイメージ

3 魅力あるサイン・デザイン

水と緑と花を感じるデザイン

新庁舎のデザインにも取り入れている、真綿川の雄大な水の流れや宇部市の豊かな緑と花々を想起させるような、魅力あるデザインを計画します。



○魅力あるサインのイメージ